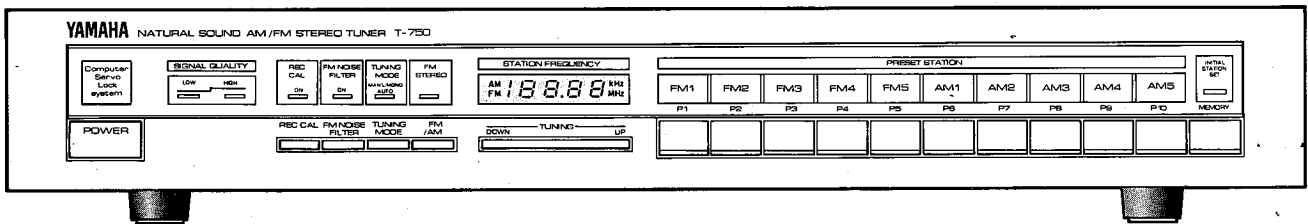


YAMAHA

NATURAL SOUND AM/FM STEREO TUNER

T-750

取扱説明書・保証書



■目次

特長	1	接続上のご注意	5
参考仕様	1	各部の名称と機能	6
各部の名称	2	プリセットメモリーおよび放送の受信の方法	8
接続図	3	故障と思われるときには	11
ご使用になる前に次のことにご注意ください	4	サービスのご依頼について	12

ご使用の前に必ずお読みください。

本書には、最終ページに保証書が添付されていますので、所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

このたびは、ヤマハ・ステレオチューナーT-750をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

T-750の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただく
ために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いい
たします。

■特長

●FMチューナー部

高感度J EETと、高耐圧バラクタダイオードを使用した
シンセサイザー方式で、平坦な群遅延特性を持つセラミ
ックフィルターを使用した低歪率IF段と広帯域バランス
型レシオ検波回路を採用。

MPX回路には、DC NFBスイッチング方式トラッキン
グタイプパイロットキャンセル付アンチインターフェア
ランスPLLシステムを採用し、受信機としての性能とオ
ーディオソースとしてのサウンドクォリティーを合わせ
持っています。

●AMチューナー部

高耐圧バラクタダイオードと高利得IF、ICを使用したシ
ンセサイザー方式チューナー。電界雑音に強いAM専用
ループアンテナの使用とあいまって高忠実な受信を実現
しています。

●チューニングシステム

CSLシステム(Computer Servo Lock System)によっ
てオートサーチ/マニュアルサーチ選局、10局ランダム
プリセット選局、電源ON時に受信する局を設定できる
イニシャルステーションセットなど多彩なコントロール
を可能にしています。

●スーパーキャパシター使用のメモリーバックアップ

メモリーバックアップ用にスーパーキャパシターを採用。
電池交換などのわずらわしさから解放しました。

●ステーションカード

国内の全ての放送局のステーションカードを付属し、プ
リセット内容を一目で表示します。

●レコーディングキャブレーター内蔵

FMエアチェックのレベル合わせに便利なREC CAL
(レコーディングキャブレーター)回路を内蔵しています。

参考仕様

■FMセクション

受信周波数	76.0~90.0MHz
実用感度 (MONO 30dB S/N)	
75 Ω	0.9μV(10.3dBf)
300 Ω	1.8μV(10.3dBf)
50dB S/N感度	
MONO	3.2μV(15.3dBf)
STEREO	40μV(37.2dBf)
FM NOISE FILTER ON	32μV(35.4dBf)
イメージ妨害比 (84MHz)	55dB
I F 妨害比 (84MHz)	95dB
スプリアス妨害比 (84MHz)	80dB
AM抑圧比 (IHF)	60dB
実効選択度 (IHF)	55dB
キャプチャレシオ (IHF)	
MONO	1.5dB
S/N比 (IHF)	
MONO	90dB
STEREO	85dB
全高調波歪率	
MONO (1kHz)	0.05%
STEREO (1kHz)	0.07%
ステレオセパレーション	
1kHz	58dB
周波数特性	50Hz~10kHz ±0.3dB
サブキャリア抑圧比	45dB

■AMチューナーセクション

受信周波数	513~1620kHz
実用感度 (IHF)	250μV
選択度 (999kHz ±9kHz)	25dB
S/N比	55dB
イメージ妨害比 (999kHz)	40dB
スプリアス妨害比 (999kHz)	50dB
全高調波歪率 (400Hz)	0.3%

■オーディオセクション

出力レベル/インピーダンス	
FM (100%変調、1kHz)	500mV/4.0kΩ
AM (30%変調、400Hz)	150mV/4.0kΩ
REC CAL (333Hz)	250mV/4.0kΩ

■付属機構

- AM、FM各10局プリセット・チューニング機構
- オートサーチ・チューニング機構 (UP/DOWN)
- イニシャルステーションセット機構
- REC CAL機構
- FM NOISE FILTER機構

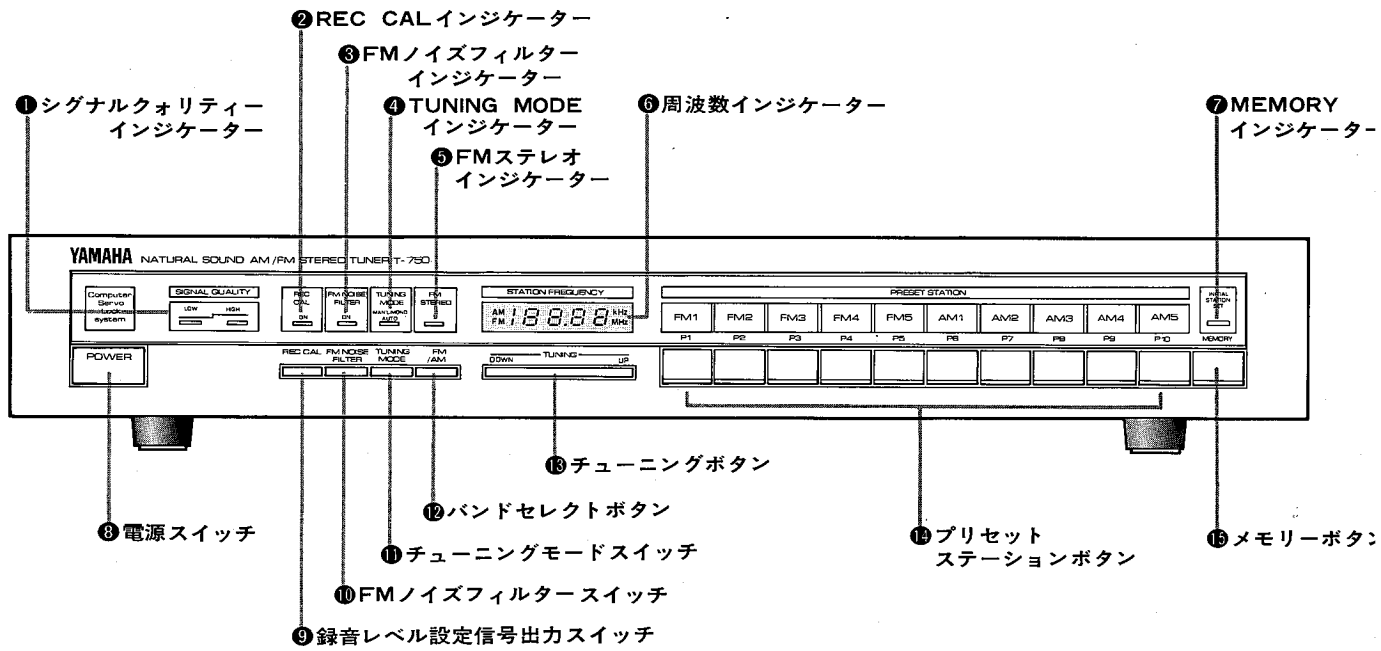
■総合

定格電源電圧・周波数	AC 100V 50/60Hz
定格消費電力	10W
ACアウトレット	300W MAX
外形寸法 (W×H×D)	435×72×316mm
重量	3.8kg
付属品	出力コード
	FM T字型簡易アンテナ
	AMループアンテナ
	ステーションカード

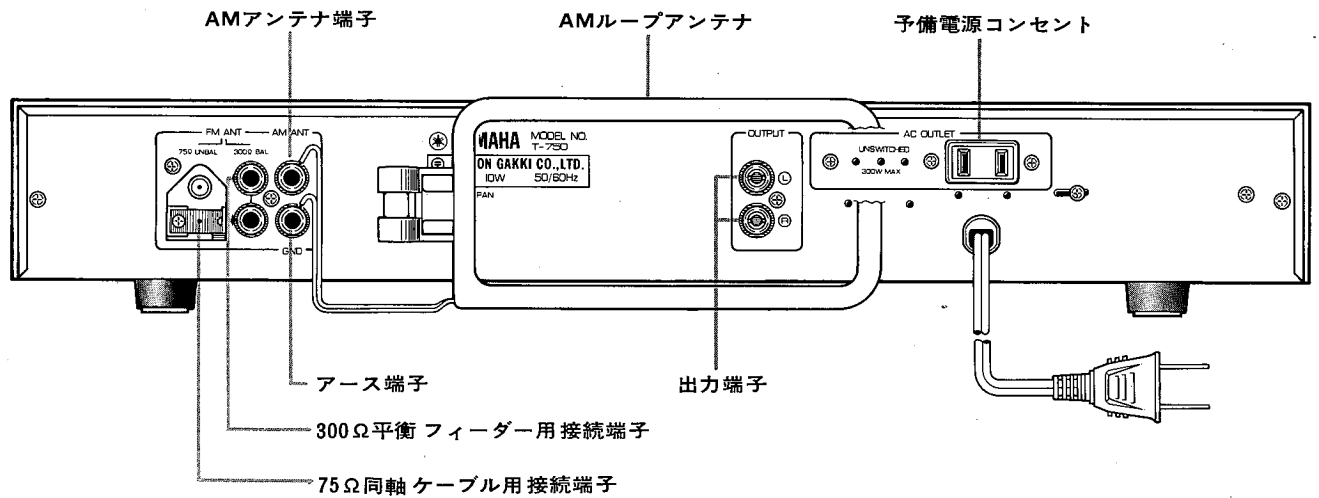
※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。

各部の名称

■フロントパネル

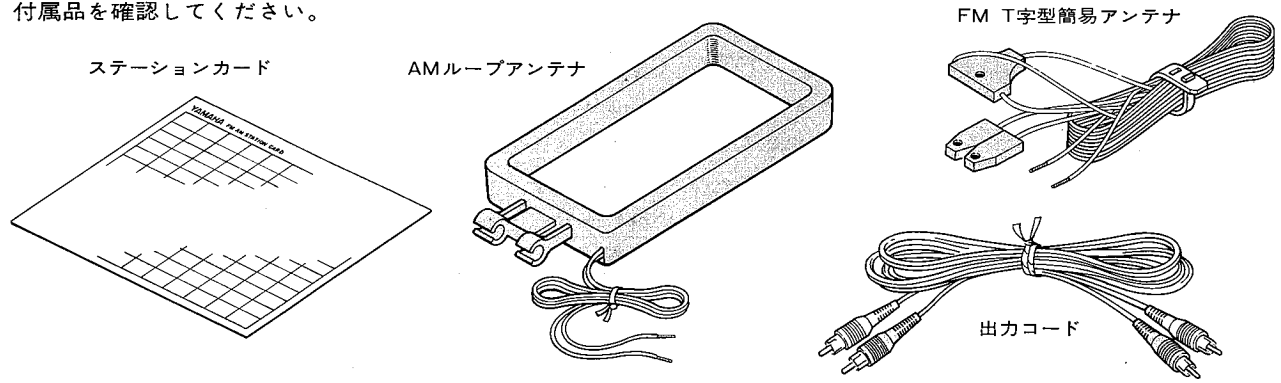


■リアパネル



■付属品

付属品を確認してください。



ご使用になる前に次のことにご注意ください



設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと音質が悪化したり故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)または、温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)では製品の機能を維持できない場合がありますのでご注意ください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部品にサビが生じたり故障の原因となることがあります。
- ホコリの多い場所ではスイッチ等がよごれ、接触不良や雑音の発生等の原因になり性能をそこなうこととなります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、振動の多い場所や磁気の強い場所(テレビやモーター)の近くには置かないでください。雑音の発生等の原因になります。



セットのお手入れには

セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。(変色等の原因となります)お手入れには、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



水に濡れたら

万一雨が降ったり、花瓶などの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。(この状態で電気を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。)



ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときは、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



FMアンテナ

良質なFM放送をお楽しみいただくために、FM専用アンテナをご使用ください。



取り扱いはいはていねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っばらないで必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100V ±10%、50/60Hzの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときには、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。アンテナからのケーブルを端子からはずし、ケーブルには絶対さわらないようにしてください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。



もう一度調べてください。

故障かな?と思ったら、まず11ページの“故障と思われるときには”を見てください。意外なところで操作を誤っていることがあります。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続上のご注意 (3ページをご参照ください。)

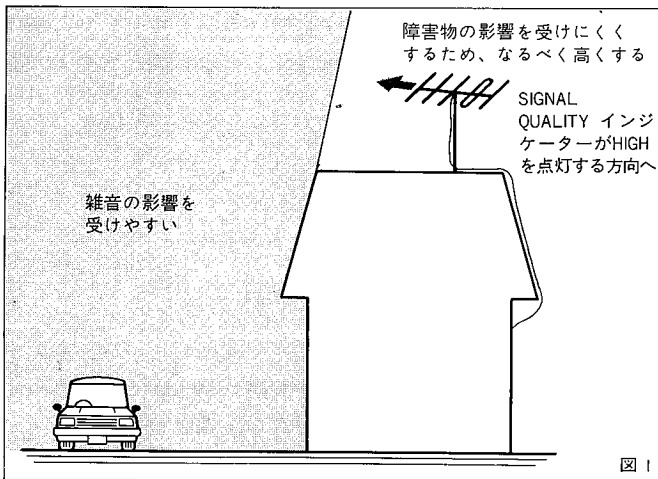
＜FMアンテナ＞

FM電波は、受信する地域の状況(放送局から離れた地域や、ビルや山のかげなど)によって良好な受信ができにくい場合がありますので、ご使用になる地域の電波の強さや状況に応じたアンテナを設置するようにしてください。

●FM屋外アンテナの設置

放送を良質に受信するために、FM用の屋外アンテナをご使用されることをお勧めします。

図1のように、道路から影になるような所へなるべく高く設置し、目的の放送を受信したときSIGNAL QUALITY インジケータがLOW, HIGHともに点灯する方向へ向けてください。



●FM屋外アンテナの接続

本機のリアパネルには、FMアンテナの接続端子として、300Ω平衡フィーダー線用と75Ω同軸ケーブル用の2種類の端子があります。

FMアンテナの接続には、300Ω平衡フィーダー線または75Ω同軸ケーブルのどちらでも使うことができますが、道路に面した所などでは、オートバイや自動車のイグニッションノイズ(ジーというノイズ)などの外来雑音の影響を受けにくい75Ω同軸ケーブル(3C-2Vや5C-2V)が有利です。また、屋外など長い距離を引きまわすにはロスが少ない5C-2Vの使用をお勧めします。

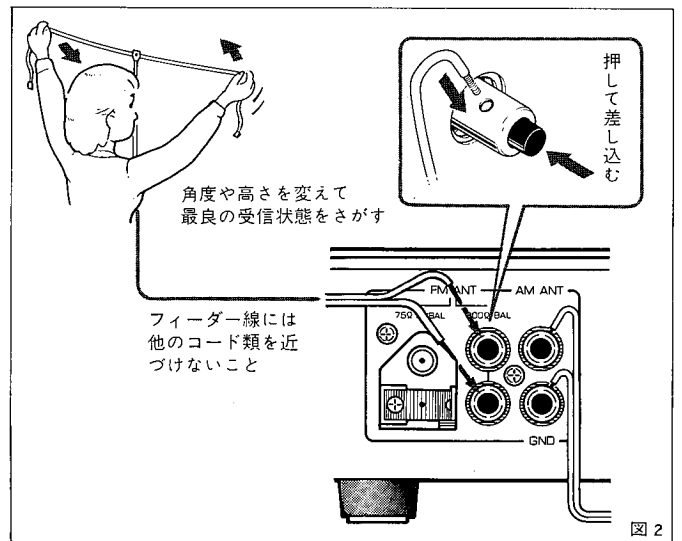
アンテナ設置上の注意

FM屋外アンテナやAMリードアンテナを設置しても、電波の弱い放送局や遠距離の放送局を受信できない場合があります。受信不能な場合にはアンテナの接続、セッティングや高さを確認してください。また、近くの放送局(強電界地域)を受信する際、多素子のアンテナやブースター(増幅器)を用いますと、電波が強すぎて受信できない場合がありますのでご注意ください。

●FM T字型簡易アンテナの接続

付属のT字型簡易アンテナは、暫定的アンテナですので、できるだけFM用屋外アンテナをご使用ください。付属のT字型簡易アンテナは、放送局に近く電界強度の強い地域で受信する場合に使用してください。

図2のように、アンテナのフィーダー線をリアパネルの300Ω端子に接続し、水平部分の両端をピンと伸ばして、ゆっくりと180度回転させながら最も受信状態の良くなる方向を選んで壁などに固定します。



●AMリードアンテナ

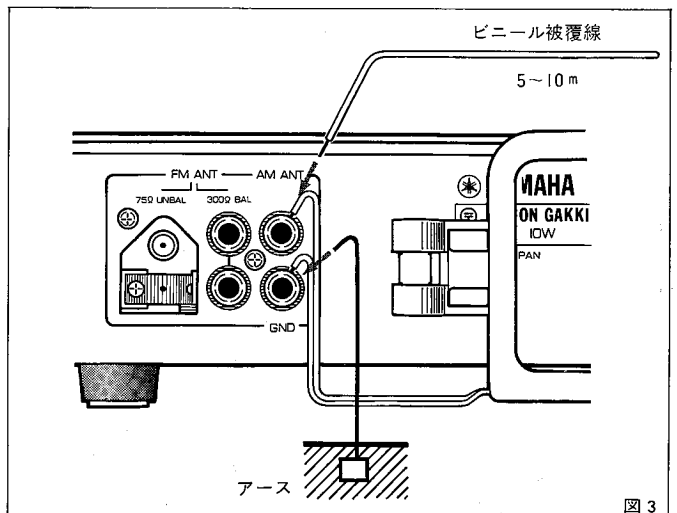
ループアンテナを調整しても受信状態が良くならないときには、AMループアンテナを接続した状態で図3のようにビニール被覆線(5~10m)を屋外に張ってください。

●アースについて

通常受信には必要ありませんが、雑音防止と安全のために地中アースをとることをお勧めします。

アースは市販のアース棒が銅板に導線を接続して湿気の多い地中に深く埋めてください。

水道管やガス管にアースを取り付けることは感電や火災等の危険防止のため絶対におやめください。



各部の名称と機能 (2ページをご参照ください)

① SIGNAL QUALITY

(シグナルクオリティインジケータ)

受信している放送電波の強さを表わします。放送を選局受信する際、このインジケータのLOW, HIGHともに点灯するようにアンテナの高さや方向を調整してください。

② REC CAL (REC CALインジケータ)

REC CALスイッチ⑨がONのとき点滅します。
※REC CALスイッチの項を参照してください。

③ FM NOISE FILTER インジケータ

FM NOISE FILTERスイッチ⑩がONのとき点灯します。

④ TUNING MODE

(TUNING MODEインジケータ)

チューニングモードがAUTO(自動選局)のとき点灯します。
※TUNING MODEスイッチの項を参照してください。

⑤ FM STEREO (FMステレオインジケータ)

FM放送がステレオ放送の場合には、自動的にこのインジケータが赤く点灯し、モノラル放送になると消えます。
※AM放送受信時には点灯しません。

⑥ STATION FREQUENCY

(周波数インジケータ)

TUNINGボタン⑬やPRESET STATIONボタン⑭で選局された放送の受信周波数をデジタル表示します。
FM放送では76.0~90.0MHz、AM放送では513~1620kHzの受信周波数を表示します。

⑦ MEMORY (MEMORYインジケータ)

MEMORYボタン⑮を押すと約3秒間赤く点灯し、プリセットメモリーすることができます。
※MEMORYボタンの項を参照してください。

⑧ POWER (電源スイッチ)

このスイッチを押すと電源が入り、電源スイッチと、PRESET STATIONのイルミネーションランプが点灯します。しばらくして、イニシャルステーションセットされている放送が受信され、各インジケータが点灯します。
POWERスイッチをもう一度押すと、電源が切れ、各インジケータとイルミネーションが消灯します。

⑨ REC CAL

(録音レベル設定信号出力スイッチ)

チューナーから録音するとき、録音レベルを設定する信号をON/OFFするスイッチです。スイッチを押すとREC CALインジケータが点灯し、333Hzの信号(FM50%変調に相当するレベル)がOUTPUT端子に出てきます。

エアチェックには適切な録音レベルの設定が必要ですが、REC CAL信号を利用しますとプログラムに関係なく、常に適切な録音レベルを決めることができます。録音レベルを合わせる場合は、デッキのレベルメーター指示が-6VU~0VUを示すようにデッキの入力レベルボリューム(録音レベルボリューム)を調整してください。

※REC CALスイッチは他の全てのスイッチに優先して動作します。

⑩ FM NOISE FILTER スイッチ

FM受信時、気になるノイズを軽減します。遠距離局のステレオ受信時などには、ノイズがめだつことがあります。FM NOISE FILTERスイッチをONすると高域周波数成分を減衰して、気になるノイズを効果的に軽減することができます。
また、各プリセット局ごとにFM NOISE FILTERのONの状態をメモリーすることができます。

⑪ TUNING MODE

(チューニングモードスイッチ)

選局方法をAUTO(自動)またはMAN'L(手動)に選ぶスイッチです。スイッチを押してTUNING MODEインジケータ④が点灯している状態がAUTOポジションです。また、FM放送をステレオ受信かモノラル受信に選択するスイッチも兼用しています。プリセット選局の場合、各プリセットごとにAUTO, FM MONOの状態がメモリーされます。

● AUTO (FM STEREO)

TUNINGボタンを押すとオートサーチチューニング(自動的に周波数が変化し放送電波を探し出します)で選局します。放送の選局中は音が出ません。

このポジションでは、FMステレオ放送をステレオで受信します。

● MAN'L / MONO (FM MONO)

選局を手動で行なうポジションです。好きな周波数にセットすることができますので遠距離局を受信する際に使います。選局中はミューティング回路が働き、局間ノイズ("ザー"という音)は出ませんが、周波数が止まった所に放送電波がない場合、ミューティング回路が解除され局間ノイズが出ます。

このポジションでは、FMステレオ放送でもモノラル受信になります。

⑫ FM/AM (バンドセレクトボタン)

FM放送かAM放送を選択するボタンです。

⑬ TUNING (チューニングボタン)

放送局を選局するボタンです。

● TUNING MODEがAUTOの場合

DOWN側またはUP側を押すとSTATION FREQUENCYの周波数が変化し、放送電波がある所で止まります。止まった放送が目的の局でない場合、再度TUNINGボタンを押して選局します。遠距離局や微弱な電波は、オートサーチチューニングできない場合があります。

● TUNING MODEがMAN'L FM MONOの場合

DOWN側を押すと、周波数が下がり、UP側を押すと周波数が上がります。ボタンを押し続けると周波数が変化しつづけ、放すと止まります。

FM…0.1MHzずつ変化します。

AM…9 kHzずつ変化します。

※但し、AMまたはFMの受信周波数以上、以下は変化しません。

⑭ PRESET STATION

(プリセットステーションボタン)

MEMORYボタンでプリセットされた局を選局するボタンで、FMまたはAMの合計10局をプリセットすることができます。

※プリセットのしかたはP. 9をご覧ください。

⑮ MEMORY

放送局をプリセットするボタンです。このボタンを押すとMEMORYインジケータ⑦が約3秒間点灯します。

MEMORYインジケータが点灯中にPRESET STATIONボタンを押してプリセットします。

また、電源ON時に受信する放送局をメモリーするイニシャルステーションセット機能もあります。

※詳しくは、P. 9のプリセットメモリーの方法とイニシャルステーションの項をご参照ください。

<メモリーバックアップについて>

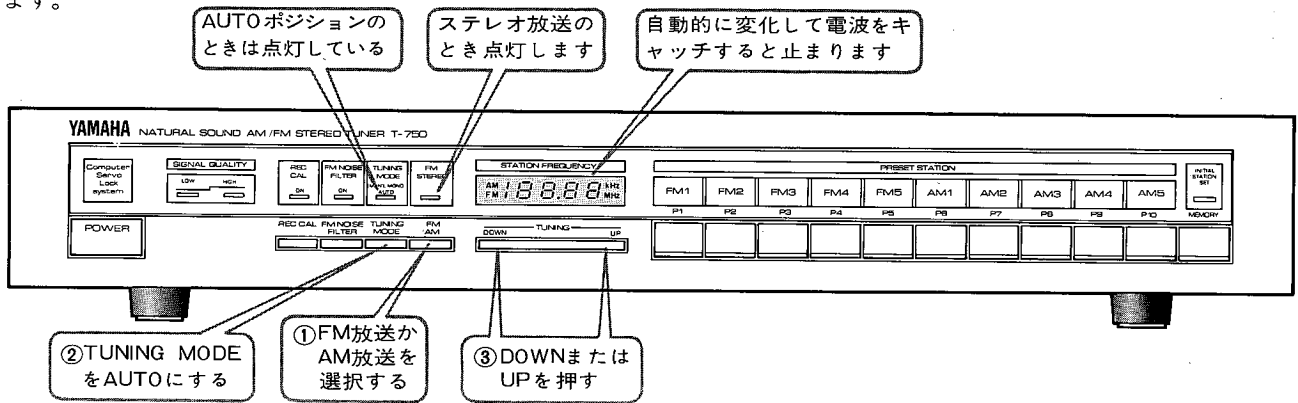
本機は、タイマー使用時や電源OFF時にメモリー内容を保持するために特殊なコンデンサーを内蔵していますので、通常1ヶ月以上メモリー内容が保持されますが、一週間以上ご使用にならない場合、状況によりコンデンサーが放電してしまうため、内容が消えることがあります。このような場合、しばらく通電した後、メモリーを再セットしてご使用ください。

プリセットメモリーおよび放送の受信の方法

■FM/AM放送の受信

オートサーチ選局(自動選局)

本機は、コンピューター・サーボ・ロック・システムによって放送電波を自動的に探し出し受信するオートサーチ選局ができます。

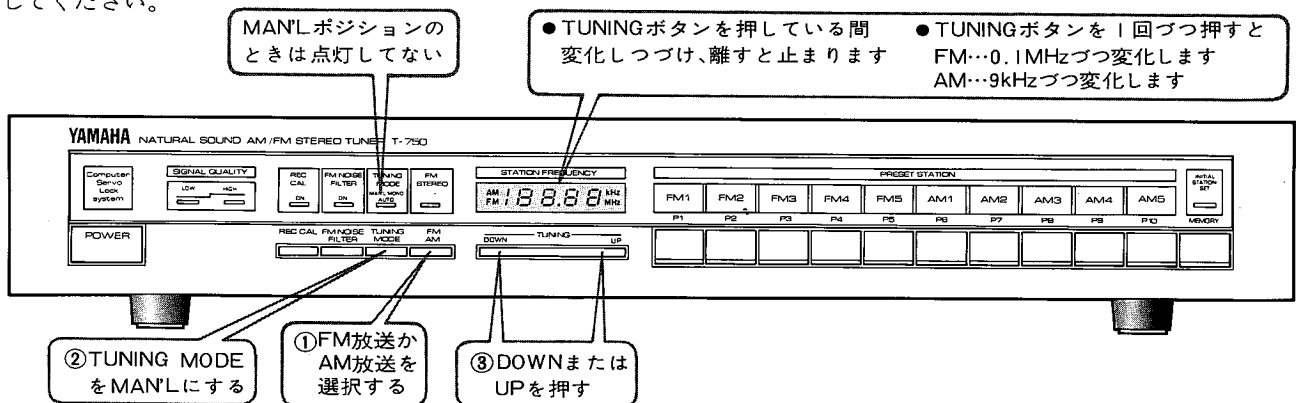


- ① FM/AMボタンでFM放送かAM放送を選択します。
※FMポジションからAMポジションに切り換えると周波数表示は、AMポジションで最後に表示していた周波数を表示します。AMポジションからFMポジションに切り換えた場合も同様に最後のFM周波数を表示します。
- ② TUNING MODEスイッチを押してAUTOポジション(TUNING MODEインジケーターが点灯している状態)にします。

- ③ TUNINGボタンのDOWN側またはUP側を押します。STATION FREQUENCYの周波数が自動的に変化して放送電波がある所で止まり、放送を受信します。
※アンテナを取り付けてない場合や、ビルの室内などの電波の弱い所でオートサーチ選局をした場合、いつまでも止まらないことがあります。周波数を止めるには、TUNING MODEをMAN'L FM MONOポジション(TUNING MODEインジケーターが消えた状態)にしてください。

マニュアル選局(手動選局)

目的の放送局の電波が弱い場合には、オートサーチ選局で受信できないことがあります。このようなときにはマニュアル選局してください。

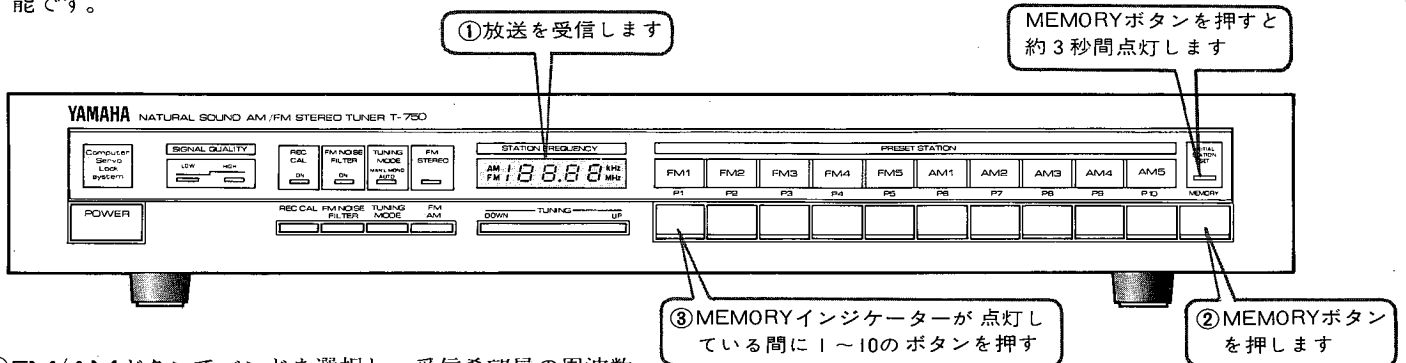


- ① FM/AMボタンでFM放送かAM放送を選択します。
- ② TUNING MODEスイッチを押してMAN'Lポジション(TUNING MODEインジケーターが点灯していない状態)にします。
- ③ TUNINGボタンのDOWN側またはUP側を押します。続けて(約1秒以上)押し続けていると周波数が変化し、押し続けている間は止まりません。目的の放送局の少し手前で離し、TUNINGボタンを1回づつ押して周波数を合わせます。

※TUNING MODEがMAN'Lの状態ではモノラル受信となりますのでSTEREOインジケーター⑤は点灯しません。
ただし、TUNING MODEをAUTOの状態に切り換えると、電波が強ければ、ステレオ受信も可能です。
※周波数が止まった所に放送電波がない場合、「ザー」(FMの場合)という局間ノイズが出ます。

■プリセットメモリーの方法

本機は、TUNINGボタンによる選局の他に、PRESET STATIONボタンによるプリセット選局ができます。ボタンをワンプッシュするだけで、あらかじめメモリーされた放送局を受信するというスピーディーで操作性の良い選局機能です。



①FM/AMボタンでバンドを選択し、受信希望局の周波数になるように、オートサーチまたはマニュアルで選局します。

※FM遠距離局受信時などでノイズが目立つときは、**FM NOISE FILTER**スイッチをONしてください。

FM NOISE FILTERスイッチをON状態でも、メモリーすることができます。

②MEMORYボタンを押します。

このとき、MEMORYインジケーターが約3秒間点灯します。

③MEMORYインジケーターが点灯している間に、PRESET STATIONボタンの1~10のプリセットした

いボタンを押します。メモリーされるとインジケーターが消えます。

※メモリーを変更したい場合、メモリーするときと同じ手順で再度メモリーします。

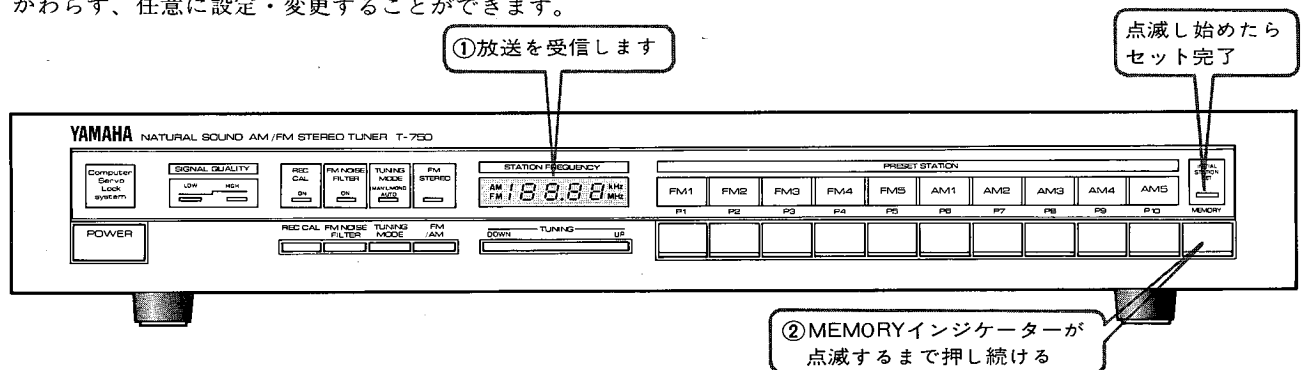
前のメモリーは消えて新しくメモリーができます。

〈プリセット選局の方法〉

PRESET STATIONボタンを押すだけで、FM/AMが自動的に切り換わり、FM/AMの区別なく選局することができます。

■イニシャルステーションセット

本機では、電源をONしたとき、常に同じ放送局(イニシャルステーション)が受信されます。この放送局はFM/AMにかかわらず、任意に設定・変更することができます。



①オート/マニュアル選局、プリセット選局のいずれかで希望の放送局を受信します。

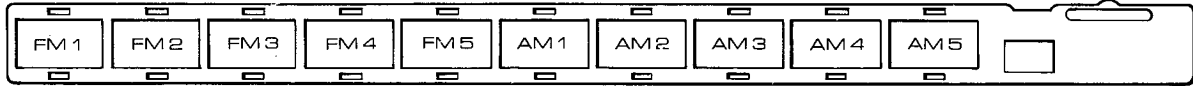
②MEMORYボタン(INITIAL STATION SET)をMEMORYインジケーターが点滅するまで(約5秒間)押し続けます。

※イニシャルステーションセットを変更するには①、②を再び繰り返せば変更することができます。

イニシャルステーションセットは、タイマーとの併用によって毎日同じ時刻音楽を聴いたり(目覚し放送など)、留守録音をするのに便利で確実です。すなわち、一度セットすると再びセット変更をしない限り、プリセット選局、オート/マニュアル選局、プリセットメモリー動作などを行なっても変ることなく、常に電源をONしたときにはその放送局が受信できるようになります。ですから、一番多く聴く放送局をイニシャルステーションにセットしておくことで、留守録音などの必要に応じて変更すれば、本機をより一層便利にご利用いただくことができます。

■ステーションカードの使い方

本機は、出荷時に下図のようにステーションカードをセットしてあります。



国内各局のステーションカードを用意してありますので、カードホルダーにご希望のステーションカードを差し換えてください。

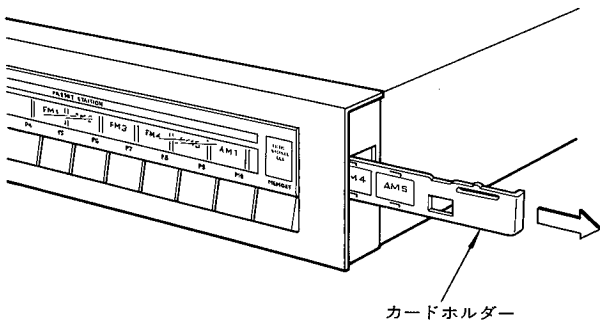
次のカードも用意していますのでご利用ください。



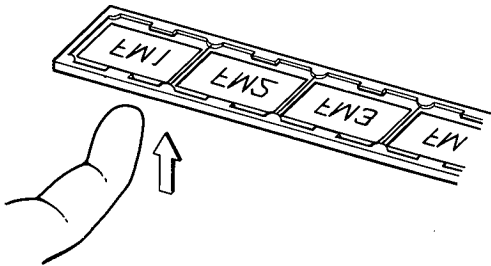
……FMワイヤレス
マイク用

<ステーションカードの入れ換え>

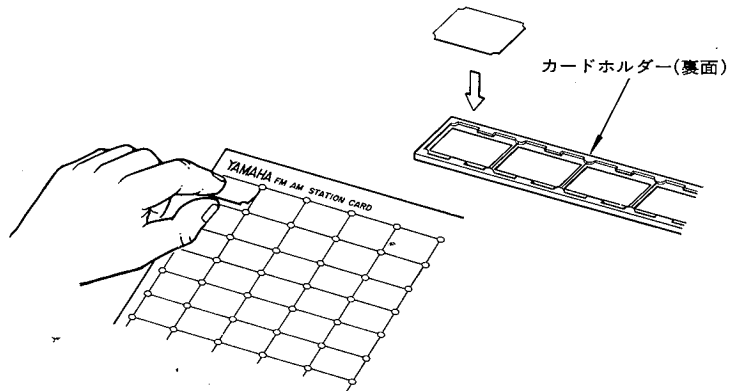
①カードホルダーを抜きます。



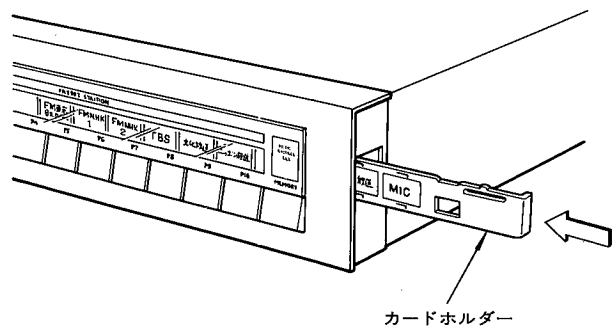
②取り付けてあるカードをはずします。



③ご希望のステーションカードをフィルムシートからはずしてカードホルダーにはめ込みます。



④カードホルダーを本機に取り付けます。



故障と思われるときには

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	症 状	原 因	処 置
FM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	“バリバリ、ガリガリ”という雑音が時々入る（電波の弱い地域ほど著しい）	モーターバイクや自動車などのイグニッションノイズ	FM専用アンテナをできるだけ高く、道路から離れた位置に建て、同軸ケーブルを使用してください
		サーモスタットつき電気器具の雑音	雑音を発生している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください
	ステレオ放送になると雑音が多くなり聞きづらい	FMステレオ放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力弱い場合に起こる	アンテナの接続を確認してください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		FM専用アンテナを建ててください
			FM専用アンテナを多素子のものにしてみてください
	ステレオ放送受信時、FMステレオインジケータがチカチカ点滅し雑音も多い	アンテナ入力の不足	受信地域の電界強度に合ったアンテナを建ててください
	プリセット・チューニングができない	メモリーが消えている	再度プリセットしてください
FM NOISE FILTERスイッチをONからOFFにしたとき、シグナルクオリティインジケータも一瞬消える	ミュート動作する	通常動作には全く支障ありません。	
AM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	感度が充分にない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が確実でない	AMループアンテナを取り付け直してください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		AMループアンテナの方向を変えてみてください
			マニュアルで選局してみてください
		屋外にAM用アンテナを張ってみてください	
“ジー”、“ザー”、“ガリガリ”などの連続雑音が出る	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタットつきの電気器具による雑音	AM用屋外アンテナを張り、アースを完全にとると減少しますが、完全に除去するのは困難です	
“ビー”、“チー”、“シーン”などの音が入る	テレビなどをそばで使用している	テレビセットから離して使用してみます	

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼・お問合せは、お買い上げ店、またはYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお願い致します。

■保証期間

お買い上げ日より1年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」(前ページ)をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。

■持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

お客様相談窓口

東京電音サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
東京ステレオサービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
東京電音サービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
横浜電音サービスステーション	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL (045) 212-2223
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーボールビルヤマハ新潟センター2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
大阪ステレオサービスステーション	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
大阪電音サービスステーション	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL (0878) 51-7777 (0878)22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-2432
名古屋電音サービスステーション	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-2432
浜松電音サービスステーション	〒430 浜松市東伊場2-14-1 TEL (0534) 56-9211
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
九州電音サービスステーション	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
広島電音サービスステーション	〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (082) 874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
北海道電音サービスステーション	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒980 仙台市大町2丁目2-10 (住友生命仙台青葉通りビル) TEL (0222) 22-6144
仙台電音サービスステーション	〒983 仙台市卸町5丁目7(卸商共同配送センター内) TEL (0222) 96-0249
お預り品修理拠点	
東京電音サービスデポ	〒171 東京都練馬区高野台2-3-10 TEL (03)904-4901
大阪電音サービスデポ	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
名古屋電音サービスデポ	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-7896
九州電音サービスデポ	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスデポ	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスデポ	〒983 仙台市卸町5丁目7(卸商共同配送センター内) TEL (0222) 96-0249
本 社	
営業技術課電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL (0534) 65-1111

■日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL(0534)65-1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-8/パールビル内TEL(03)572-3111
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL(03)572-3131
横浜店	〒220 横浜西区南幸2-15-13 TEL(045)311-1201
大阪支店	〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館8.9F TEL(06)251-1111
心斎橋店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL(06)211-8331
神戸店	〒650 神戸市中央区元町通2-188 TEL(078)321-1191
高松店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL(0878)51-7777
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5141
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2151
小倉店	〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL(093)531-4331
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL(011)512-6111
仙台支店	〒980 仙台市大町2丁目2番10号 TEL(0222)22-6141
広島支店	〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F TEL(082)221-4122
浜松支店	〒433 浜松市幸3-5-8 TEL(0534)74-3356
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL(0534)54-4077
海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

住所及び電話番号は変更になる場合があります。

保証書

サービスご依頼の際は、切り取ってご提示して下さい。

キ リ ト リ 線

ヤマハオーディオ

お客様へ

保証書に所定事項が記入されていない場合は無効となりますので、必ずお買上げ店にて記入して頂いてください。

販売店様へお願い

保証書裏面にも貴店住所・店名をご記入頂き、お客様にお渡しください。

※ 日本楽器製造株式会社

ヤマハオーディオ保証書

此の度はヤマハオーディオをお買上げ頂きましてありがとうございました。本書は、裏面の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

〒	□□□-□□
TEL NO	(TEL)
販売店	殿

型番	T-750	製番	
お買上げ日	年 月 日		
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間	

販売店名	
修理申出先	
(名称)	
(住所)	
(電話)	

〒430 浜松市中沢町10番1号 TEL 0534-65-1111

※ 日本楽器製造株式会社

保証規定

保証期間中、万一品質及び製造上の不備による故障が発生した場合には、お買上げの販売店(修理申出先)が責任を持って無料修理致します。

保証書のご使用法

- 保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買上げの販売店(修理申出先)にご依頼の上、修理に際して本書をサービスマンにご提出ください。
- 本書はサービスにお伺いした際、サービスマンがお預り致します。
- 本書は日本楽器製造(株)サービスセンターに送られ、諸手続き完了後10~15日後に直接お客様にご返送致します。

保証期間中でも次の場合は有料修理となります。

- 取扱い不适当による故障あるいは損傷の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器あるいは他の要因(アンテナ、電波、設置場所)により正常な動作をしない場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、その修理改造が不适当であった場合。
- 部品の消耗、取扱いミスによる損傷の場合。(プレーヤーの針の折損、曲げ、カセットデッキ類のヘッドのよこれ等。)
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異常による故障、損傷の場合。
- 鼠害、塩害等で修理不能部が生じた場合。
- 一般家庭用以外に使用された場合の故障、損傷、消耗部品(ヘッド、ベルト類)を交換する場合
- 本書にお買上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。

転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げ販売店(修理申出先)に修理をご依頼できない場合には、最寄りの日本楽器製造(株)お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ヘルツ交換等の場合は別途交換料金を申し受けます。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only within Japan
- 保証期間の1ヶ年を過ぎても、サービスは有料にて責任を持って実施させて頂きます。
- コンポーネントの修理は、お買上げの販売店(修理申出先)へお持ち頂きますと修理日数も短く、有料修理の場合は修理代も割安となります。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店もしくは日本楽器製造(株)お客様ご相談窓口にご相談ください。
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の《サービスのご依頼について》の欄をご覧ください。

修理メモ	
・	・
・	・
・	・
・	・

住 所	TEL
	()
販売店名	担当者名

